

寺報 龍正寺

日なた 159号

安心
稳
日
延

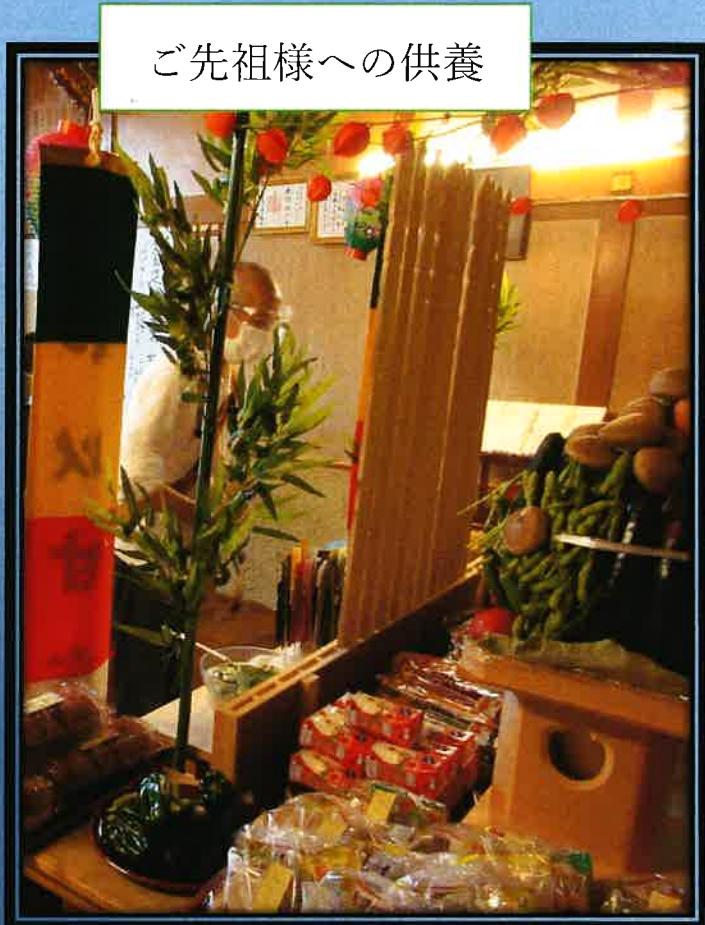


<令和 3年 8月>

宝龍会
護持会

令和3年度盆施餓鬼大法要

令和3年7月10日（日）



住職一言(譬諭品より)

暑い暑い毎日が続ります、充分身体に気を付けて、お過ごし下さい、またコロナ菌が益々拡大しています、マスク・手洗をして下さい、8月金日です、御先祖様の御供養を行いましょう。

〔法華經譬諭品第三より〕^{鈴木修學先生述妙法蓮華經略義から}
『今此の三界は皆是我が有なり、其の中の衆生は悉く是れ吾か子なり。而も今此の處は、諸の患難多し、唯我一人のみ能く救護を為す。』

(解説) 今この三界はみな自分の有である。その中の衆生はどこぞとくわが子である。(かも今この世間にはもちろんの苦しみ。悩みが多く、世間の人との周囲の状態は始終変化してやまない。この世の中ににおいて自分一人に救う力がある。自分は世間をはなれて淨らかなどろにいるのだ"か、"この淨らかなどろかでて ひいて救われる"のである。唯我一人、自分よりほかに救う者はないと思って進んでやるのだ"と いうのである。

この術は、昔から主師親の三徳といふことで説明されてあります。

- ・今此三界皆是我有 = 主の徳
- ・其中衆生悉是吾子ニ親の徳
- ・唯我一人能く救護ニ師の徳

仏様にたって我々は従者であり、子供であり弟子である。主従、親子、師弟の関係であります。世の中のいろいろな関係は、この三つに總括するとが出来ます。人の上に立って命令する人は親が子供を可愛がる様な慈悲がないければならない。先生が身をもって弟子を教えるような覺悟がないければならない。親はただ「子を養うばかりではいけない。師となって導き、主となって命令する覺悟でなければならぬ。親は主たる威厳と、師たる徳とをもたなければいけない。師となれば、ただ「物事を教えるだけではいけない。主たる威厳をもち、親たる愛をもって教えなければならぬ。主師親の関係はうける方となつては、指図をうけるにも親を慕うような心持ち、弟子が先生を仰ぐような心をもって命令をうけねばならぬ。子供としては、召使ハガが主人につかえる従順な心持ち、また弟子が先生を仰ぐような心持ちをもって親につかえねばならぬ。弟子となつては、子が親に懐くような、召使が主人にうやうやしくするような心持ちをもって先生に対さねばならぬのである。「救護」ということは救い護る。人間が迷いつたためにとんでもない道に墮ちて、苦しみを受けたり、罷をつったりしているから、それにたって仙は力をつけて救められるのである。人間は仙性といって仙とおなじよい性質をもつている。その尊い性質をもつて大事にして損めないよう育てあげてゆくことが最も大事である。救護の二字で「仙のなることをつくすことができる。どうかお互に救護する身になりたいものです。南無妙法蓮華經……合掌

座禅 内観の集い

55年3月27～5日間

和歌県の海翁禪寺へ内観の集いに
出かけました 本より見つけました

長男が中学1年生 わたくしは39才でした

何も知らず 何もわからずで出かけて行きました

駅より5分でお寺に到着です茶室に通されます

夕食はわかづし(大きめが2ヶ)

(天ぷら サラダ)
(茶わん蒸し)

とてもおいしい夕食です 子供と顔を見合せておひいね
とくすと笑って…ついて来てくれてありがとうと御礼を
言いました

朝 5時起床 冷え込も朝です 5時半より座禅に
入る。30分の座禅 5分休みで 7時まで
しんしんと冷え込も朝の座禅 ひじひじと
黒い拍木の音が耳に残る

7.00より朝食 何よりたのめと子供が言います

かゆ
(
煮つけ物
おつりもの
) 中学の子供が朝のおかゆを
よろこんでいただきました

又 座禅に入る 10時あやつ バナナ一本
(又子供がよろこびました)

それから場所を変えて「接心」がはります
この接心の時間がとても大事なのです

子供には 約心がついてから 父母に世の中になったこと等々
です それらのこと 御れが言えただろうか?
又いろいろと迷惑をかけたりして 注意されたこと…
などです

わたくしも 息いほどに心が踊りました!!
まい日の生活の中で 家族のこと お店のこと (へ百屋さん)
いろいろ いっぱい 有る中で 自分の勝手都合で 自分の
ことを考えて からの仕事であったり 考え方であったりと 何かされ
ば 内われるほどに 息くなじゆく気持ちでした!!

内観とは 真実の自己をみます

調身 調息 調心

心の中より…深い思いで
この良い悪いと思う

この辺は父のもの

このくせは母のもの

父母はわたしの心の中で生きている

39才の時は只單に帰つて来ましたが長い年月の中で
ご法話の学びより今は深い思いでじにひびきます
そして涙を流すのです

接心は何度も何度も時間とかけて自己を見つめ
直してゆかねばのようです

反省が山積みです 反省の心がなかったら進歩が
なほと和尚さまは何度も何度もお叱られました

接心よりの気づきより反省ができるようですが、午後は休憩
の一時でした子供と二人でよろこびました!! 勝浦湾を眼下に
見ながら静かな時間都會では味わえないよろこびでした!!

身も今57才です わたくしが80才と年を重ねて参りましたが
この内觀の集まりのご縁が今も足元に続いているように

思えます 39才よりは道に迷いながらの人生の道工事始めたが
今は尊い法華經のじ法のおかげさまに、じよりの合掌に涙が
込み上ります ありがとうございます ありがとうございましたと仰頭で

御礼申します 南無妙法蓮華經 合掌

偉せの連鎖

仕事で小学校の近くに、御利用者の訪問宅があります。
そこで仕事を済ませて、次の訪問先までの移動時間は
15分です。

ちょうど通学時間と重なり、気持ちはあせるか車は進まず
訪問時間に間に合めなハヽと、心穏やかになれてハヽ時
でした。車の前に初老の女性が、左右を全く気にせずには
通りました。“危ない!!”、あわててブレーキを踏みました。
その女性はこちらをにらみつけて通って行きました。
突然前に飛び出して来て、そのような態度に唖然と
するばかりでした。

“すぐそこに横断歩道があるのに…。”その横断歩道では、
小学3~4年生の女の子が3人止まってくれていました。

車を止めて“ごーをお先きに、”と手で合図すると、一人の女の子
が横断後、振り返り深々とおじきをしてくれたのです。

その行動に先程の不快な気分は一変にかき消されました。
その少女が聖者の様でした。あの初老の女性とこの少女の
違いはどこにあるのでしょうか。

その後はとてもスムーズに、そして気持ち良く運転できました。

時間も間に合い、次の訪問先で”今日はどうしたの？ とても爽やかな声、その笑顔、何か良い事かあった？ 朝から調子が悪かったけど…。あなたから元気もいただきました。ありがとうございます！”とされました。

”あの女の子のあかけたり、もしあの不快な出来事のまま訪問していたら…この御利用者にも不快な思いが伝わったかもしれません。人の思い・感情は言葉にななくてても伝わる。良い思いが伝わる人でありたいと強く思います。

一人の少女の心が次から次へと気持ちの良いエネルギーを伝えてくれた。また、この気持ちの良いエネルギーは少女の功徳となります。良いエネルギーもまた同様です。知らず知らずに人も不快にさせるとエネルギーは悪業因縁となるでしょう。その良いエネルギーもまた自分へ戻ってきます。自分の行い・言動に気をつけ日々精進したいと思います。この日は一日気持ちの良い出来事ばかりでした。

南無妙法蓮華經

— 子育て —

コロナ禍の中のオリンピック。賛否はありますか？やはりスポーツに取り組む選手達の姿は、どの競技を見ても感動させられます。

先日、買い物に行った時のこと。2~3才の男の子が馬太々をこねて泣いていました。お母さんはその子を抱き、そして背中をさすりながら、「どうしてママや嫌いなの？」と聞いていました。どうやら買っていたおもちゃがあつたのに断られ、泣いていた様子でした。お母さんは声をあらげる事なく、やさしく接していました。「あのおもちゃは〇〇くんには少し難しいおもちゃだ」とからでよ。もう少し大きくなったら遊びできるおもちゃだよ」と説明し、それでも泣いている子に、「まだえんえん言う？（泣く？）」「やまんできる？できなければお店の外に出るよ」と声をかけ、泣いている子を抱き、そのまま外へ出て行きました。

買い物をしている人は何となくその光景に癒されていました。誰一人嫌うな顔をして

いる人はいいよいよに思えました。

以前も何度かお店で"子どもが"馬太々をこねている所
を目にしています。私もその親の立場になっ
て、経験も、勿論あります。いざに余裕のない時
や、子どもの気持ちより、自分の気持ち、が優先
された時は、親も一緒にいたて大声で怒ってし
まつたり、つき放してりしている場面にも遭遇しま
した。

先日の親子は、その後また店内に戻り、男の子は
笑顔で買物を続けていました。お父さん、お母さん
も、毎日の育児、仕事に精一杯で、一人の時間が
欲しかったり、いざに余裕のない時もあるかと思いま
すが、言葉が理解できるようになり、たくさんお話を
できるようになつて一番かわいい時期、ストレスは
上手に発散して楽しく子育していくことを願います。

〈8月行事予定〉

- 8月13日(金) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人報恩会
- 18日(水) 10:00~ 鬼子母尊神
七面大明神) 祈祷会
松葉谷法難会
- 29日(日) 13:00~ 役員会

〈8月住職の予定〉

寺院ニテ 法務

〈8月の予定〉

- 8月6日(金) 各々の時間で 清掃 準備
- ↓
- 12日(木) ↓ ↓
- 13日(金) 法要後 片付け 準備
- 14日(土) 各々の時間で 清掃 準備
- ↓
- 17日(火) ↓ ↓